

美幌LCと美幌町社協が締結

自然災害における災害ボランティアセンター支援に関する協定



自然災害発生時における
災害ボランティアセンター支援に関する協定

車両提供など明記

美幌LCリングプルと古切手寄贈も

美幌町社会福祉協議会は地震や洪水などの自然災害発生時、美幌町と連携して「災害ボランティアセンター」を立ち上げる。その運営に際して車両や物資などの支援を申し出た美幌ライオンズクラブ(篠永千枝子会長)と町社協の間で23日、「自然災害時における災害ボランティアセンター支援に関する協定」が締結された。

災害ボランティアセンターは、大規模災害時に町の施設を本部事務所とし、被災情報やボランティアニーズの把握、災害ボランティアの募集や受け付け、活動の情報発信、活動に必要な資機材や物資の調達・貸し出し・管理などを行う。町との協定では町社協が設置、運営を担うと明記されている。

大規模災害時には、道内外から多くの災害ボランティアが集う。今回、ライオンズクラブと締結した協定書には「ボランティアの移動や活動に利用する車両(軽トラック)の提供」「ボランティアへの飲食物、飲料水の提供」などが明記されている。

災害ボランティアセンター支援に関する協定書を交換する篠永会長(右)と森会長

この日、しゃきつとブラザで行われた締結式では、町社協の森暉夫会長と篠永会長が協定書を交換。「(ライオンズクラブの)支援は大変力強く、ありがたい」という森会長に、篠永会長は「自然災害が起きないことが一番だが、万が一支援が必要となった場合はお役にたてれば」と話していた。

締結式のあとは、ライオンズクラブの会員が集めたリングプル4・2キと使用済みの古切手1800枚を寄贈。森会長

は「リングプルは車いす購入に、古切手は東京の盲老人ホーム聖明園の運営資金に活用させていただきます」と感謝した。